

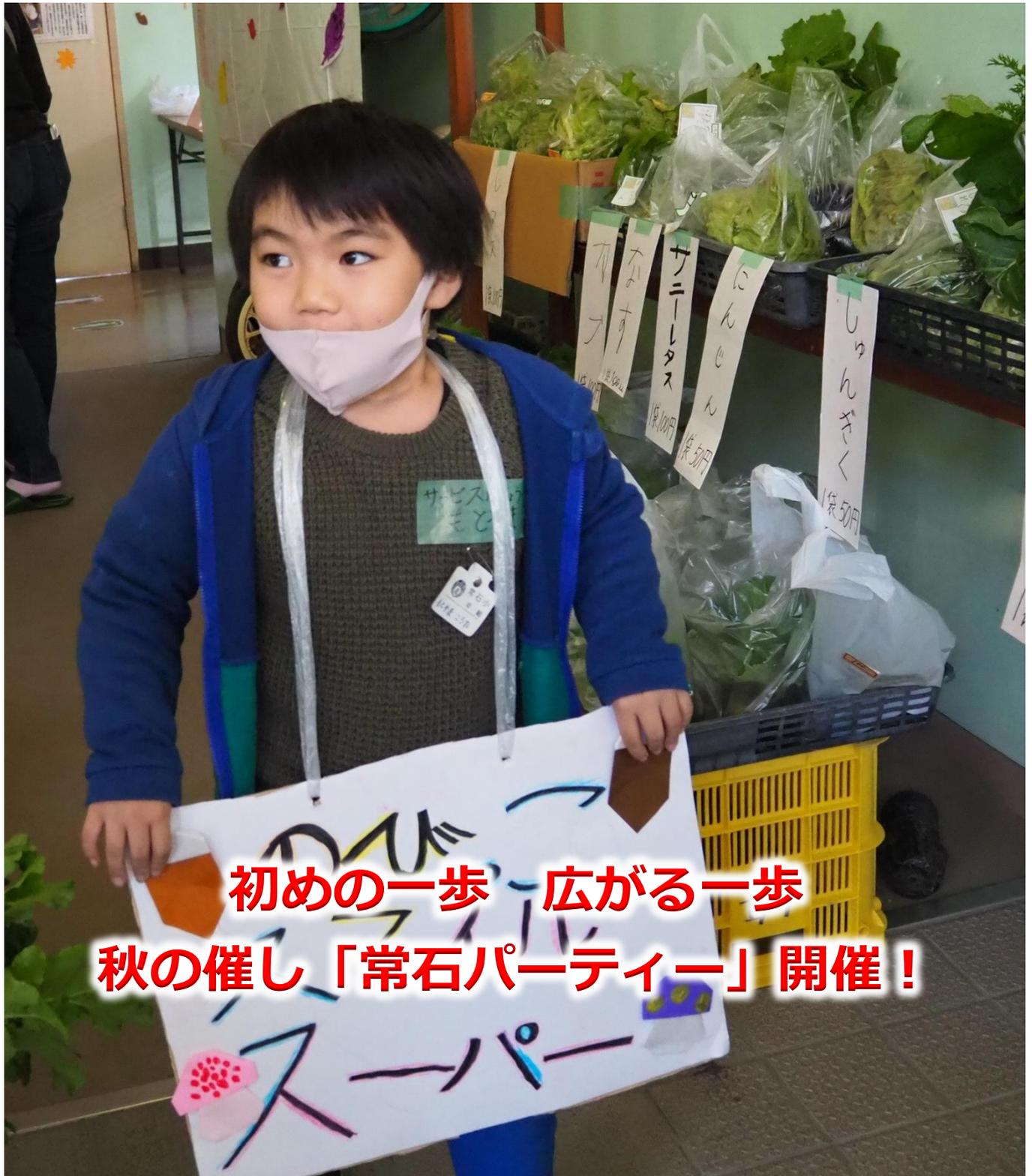
学校だより

眺洋山 12月号



2020年（令和2年）11月25日
福山市立常石小学校

めざす子どもの3つの姿 「**自立**・**共生**・**自己実現**」



初めの一步 広がる一步
秋の催し「常石パーティー」開催！

オープンスクール開催 205 人の方が見学にお越しになりました！

10月26日から11月5日に、来年度以降常石小学校に入学または2・3年生に転入学を希望している方を対象としたオープンスクール・学校説明会を開催しました。

コロナ禍ということもあり、一日当たりの参加者を限定しての開催となりましたが、最終的には、延べ205人の方が参加されました。



様々な方々との出会いの中で学びました

ワールドオリエンテーションは、「ホンモノの世界で起こるホンモノの課題」を大切にします。当然、そこでは、実社会で働いていたり活動していたりする方々に出会いながら学ぶ機会が多くあります。この10月から11月にかけては、どの学年も、これまで以上に多くの方々に出会い、学びを深めることができました。お忙しい中、ご協力いただいた方々に感謝です。



中国新聞社の記者の方



常石造船の方々



ハローズの方々



常石消防団の方々



消防士の方



ツネイシパイレーツコーチの方々



交番の警察官の方々



トリマーの方



食堂調理員の方



美容師の方々



薬剤師の方

ここに掲載できた以外にも多くの方々の御協力をいただきました。ありがとうございました。

4年 廣安諒君, 木下夕爾賞優秀賞受賞！

小中学生の詩を対象にした第19回木下夕爾賞の優秀賞を、4年生の廣安諒君が受賞しました。作品は「ぼくと廣諒丸」です。おめでとうございます。



ぼくと 廣諒丸
 ぼくのお父さんは、船をもって
 船の名前は、廣諒丸だ
 ぼくの名前からとった名前だ
 この夏も廣諒丸に乗って遊びに行っ
 船の先から海へ飛び込んだ
 バッシャーンとしぶきが上がった
 この音が最高だ
 でも、ちよっとまたが痛い
 船から浜まで泳いだ
 この夏、うき輪なしで
 浜まで泳げるようになった
 夕日を見ながら船で走る
 風をあびるのが気持ちいい
 帰る時間も大好きだ
 出港や着岸の時
 お父さんを手伝っている
 今は、まだ見習いだけど
 大人になったら
 ぼくもお父さんのように
 廣諒丸を運転したい
 風をあびながら
 大きな海を走るぞ

催し ～喜びや悲しみなどの感情をみんなで分かち合う～

オランダ・イエナプラン 20 の原則に、次のような項目があります。

15. 学びの場（学校）では、教育活動は、対話・遊び・仕事（学習）・催しという4つの基本的な活動が、交互にリズムカルにあらわれるという形で行います。

この4つの基本的な活動の一つ「催し」は、行事だけでなく、うれしい出来事や悲しい出来事を取り上げ、喜怒哀楽を共にするための活動と言われています。オランダのイエナプラン教育校では、子ども一人ひとりの誕生会や毎週末行っている子どもによるミニ発表会などを催しとして行っています。週末のミニ発表会は、その週の学びや学校で起こったことなどを子どもたちが簡単に発表し、保護者と共有していくようなものとなっているようです。

常石小学校では、まだ週末のミニ発表会を開くまでには至っていませんが、少しでも保護者や地域の方々と子ども達の成長していく様子を共有していきたいという思いから、今年度から年に3回の季節の催しの開催を計画しました。コロナ禍ということもあり、春や夏には開催できず、11月14日の秋の催し「常石パーティー」（子ども達が名付けました）が今年度初めてとなりました。



低学年ふね組「火事のひみつ」



低学年ひよこ組「お店ではたらく人のくふう」



高学年「仕事とは何か」

これまでこういった発表の場では、私たち教師は、どこかその出来栄を重視してしまう傾向がありました。ともすると、教師がプロデューサー兼監督兼演出となって子ども達をぐいぐい引っ張って作り上げ、子ども達が単なる演者となってしまふことがありました。しかし、そういったやり方は、本当に子ども達の力を伸ばすことになっていたのか、改めて私たちは自らに問い直しています。目指すべきなのは、子ども達自身が、やりたい、伝えたいという思いを持ち、自らプロデューサー兼監督兼演出、そして演者もしくは発表者として活躍する発表会ではないかと。それは決して質の高いものとはならないかもしれませんが、しかし、自分達で作ってこそ真の力となるでしょうし、発表が満足いくものとなれば、子ども達は達成感で目を輝かせるに違いありません。そしてたとえ失敗したとしても今後につながる糧となるはずです。私たち教師の役目は、目指す子どもの姿が実現するよう後ろからサポートしたり、子ども達が思い切って挑戦できる環境を整えたりしていくことだと考えています。

さて、そういった視点から見た時、今回の催しはいかがだったでしょうか。なかなか一朝一夕にできることではありませんが、私たちはそのような学びの実現に向けてこれからも取り組んでいきたいと思っています。ぜひご家庭でも、子ども達それぞれが頑張った姿をしっかりと評価していただければと思います。

修学旅行に行ってきました！

今年度は新型コロナウイルス感染の懸念もあり、例年行ってきた京都・奈良・大阪方面への修学旅行を取りやめました。その代替えとして、比較的感染リスクの少ない近隣県への修学旅行としました。行先は、一から全て子どもたちが企画。例年とは一味違ったバスツアーが実行されました。



土佐の坂本竜馬ぜよ！



桂浜でジャンプ！



タオル美術館でハイ！チーズ！



四国水族館にて



砥部焼の絵付け体験



松山城からの景色が最高でした